

夢洲における万博レガシーの継承と発信について

2026年2月27日

大阪府・大阪市

万博レガシーの継承・発展

万博の成果

- ① つながり・交流の拡大、深化
- ② 新たな価値観への気づき・共有
- ③ 新たな取組として生み出した技術・システムの実証

取組例

- ▶ 海外都市等との新たなMOU等の締結(大阪府・市で延べ18の国・都市等)
- ▶ 国の「Global Startup EXPO 2025」と連携した「Tech Osaka Summit 2025」等のビジネスマッチングや、国際的なアートイベント「OSAKA INTERNATIONAL ART 2025」の開催
- ▶ 「リボーンチャレンジ」(於:大阪ヘルスケアパビリオン内、432社の新技術・製品を展示)の実施
- ▶ 万博会場で「ペロブスカイト太陽電池」の実証実施や、水素のサプライチェーンモデルを実装
- ▶ グリーン水素とCO₂からe-メタンを製造・利用するメタネーション実証を実施 など

ソフト・ハード両面におけるレガシーを継承し、
今後の大阪・関西の成長・発展につなげる取組を展開

万博を機に生まれた
国際的な交流等の継承・発展

剰余金の
活用

最先端技術等の
実装化・産業化

大屋根リングの残置等
万博跡地におけるレガシーの発信 等

夢洲における万博レガシー継承と発信について

1. 夢洲での取組

万博開催地である夢洲をレガシー継承の先導的な役割を果たす「場」と位置づけ、夢洲全体で官民が一体となって万博の記録や成果を、日本・世界へ発信する機能の導入をめざす。

【1期】 IR

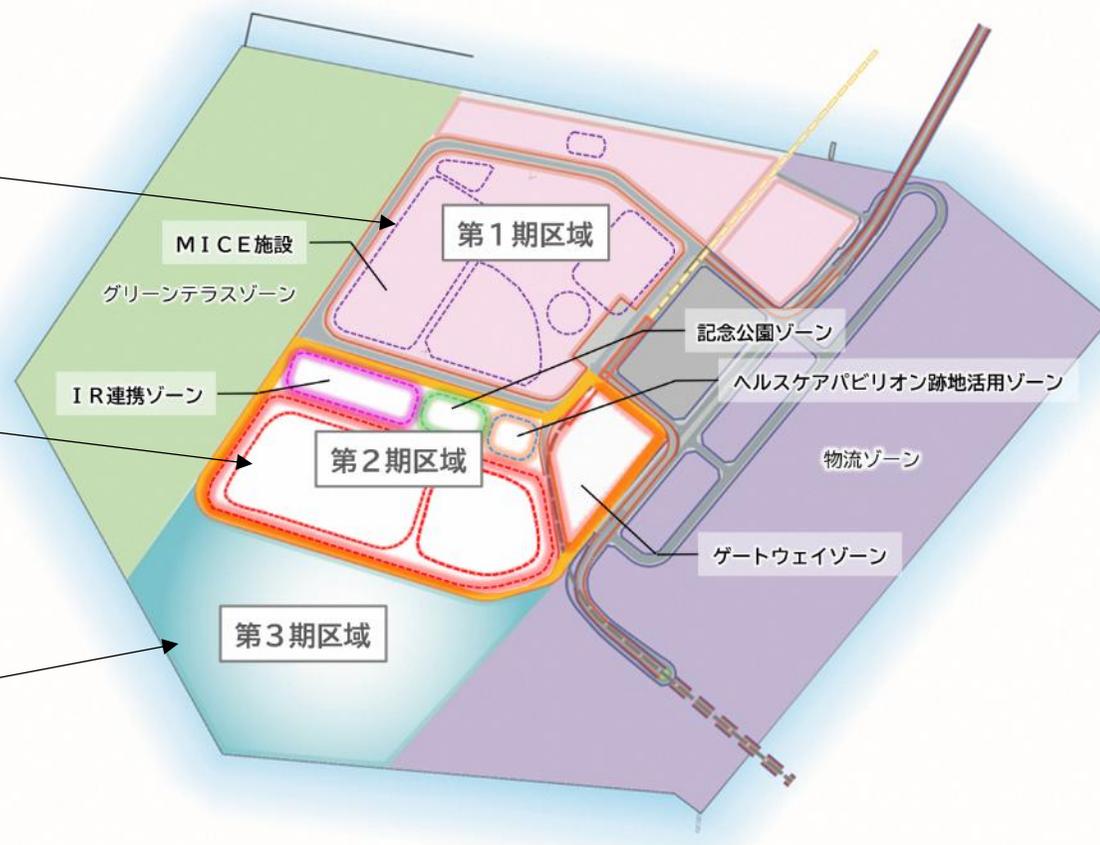
- 新たなMICEイベントやコンテンツの創出等により、国際競争力のある地元産業の振興に貢献

【2期】 万博跡地

- 万博の理念継承し国際観光拠点形成を通じて「未来社会」を実現するまちづくり

【3期】 将来

- 第1・2期で創出された最先端技術等により、健康や長寿につながる長期滞在型の上質なりゾート空間を形成



夢洲における万博レガシー継承と発信について

2. 夢洲第2期区域での取組

- 万博の成果を継承し、音楽、アート、先進技術、環境など多様な取組みの展開や交流促進を図るとともに、広く国内外への情報発信に取り組む
- これらの取組みを展開する「場」として、大阪府・市が中心となって、記念公園の整備や、大屋根リングの一部残置、記念館を整備することにより、多くの人に開かれた拠点の形成をめざす
- あわせて、民間開発エリアでは、非日常空間の創出や、万博で実証された「未来社会の実現」にする取組みを条件とする公募を実施

万博レガシー継承・発信

- 音楽、アート等により若者の身心を育む
- 多くの人に開かれ、環境にも配慮
- 数多くの先進的技術に触れる

↓
万博の成果を日本・世界へ発信

記念公園ゾーン(約2.9ha)

- 【記念公園】交流や出会いを促す「場」を整備
- 【リング】約200mを残置し展望台として整備
- 【記念館】万博記録の発信や交流を促す施設を整備

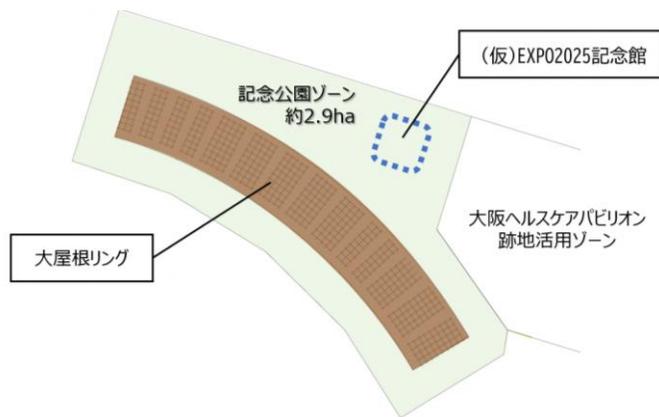
↓
交流促進や情報発信の「場」を創出

民間開発エリア(約42ha)

- ここでしか体験できない非日常空間を創出
- 未来社会の実現に資する取組みを展開
- にぎわい創出、交流促進機能の導入

↓
万博でのワクワク感を再現

<記念公園ゾーン>



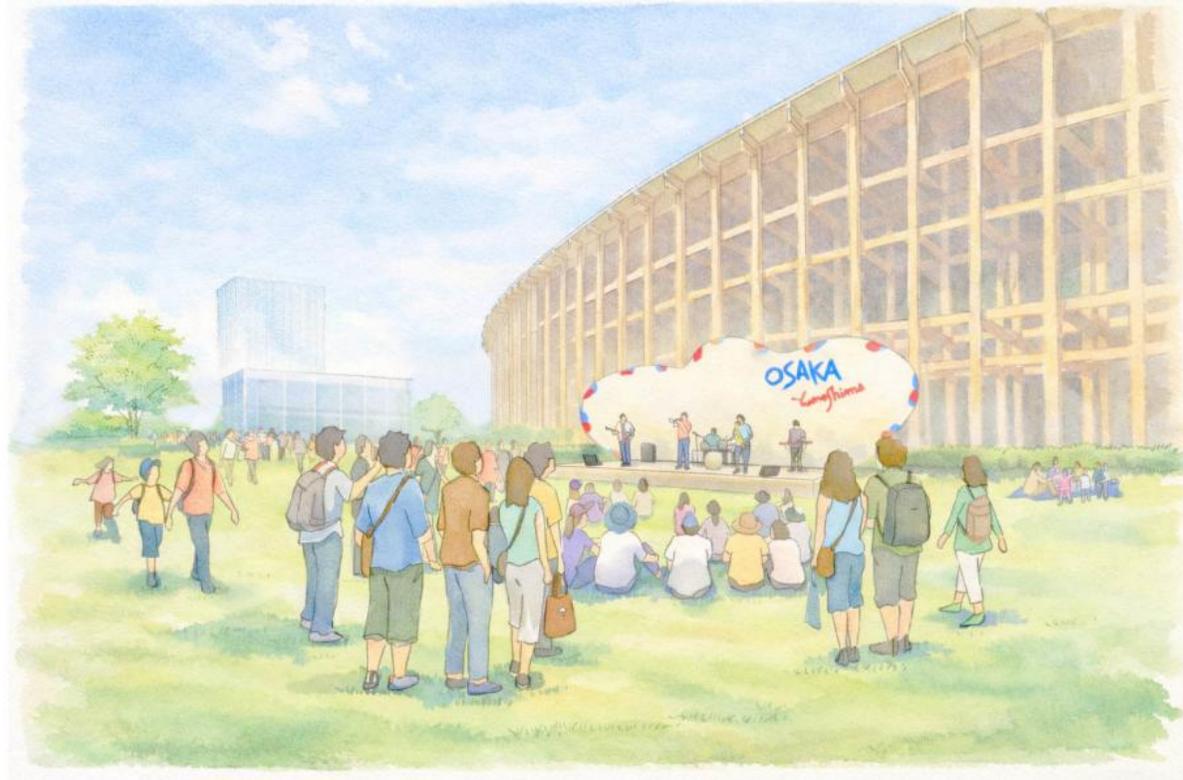
<夢洲第2期区域>



大屋根リングの残置のための改修・管理運営等とともに、記念館の管理運営に要する費用について、剰余金の活用を想定

夢洲における万博レガシー継承と発信について

(参考) 記念公園ゾーンのイメージ



記念公園



(仮)EXPO2025記念館内部

夢洲における万博レガシー継承と発信について

(参考) 大屋根リングの部材の状態について

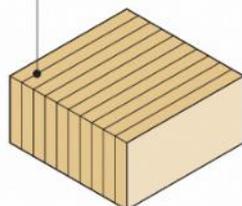
- 構造上重要な箇所（柱、梁、基礎など）の部材について、公的な検査機関による接着性能試験、地震・気象記録などの確認の結果、当面の間、活用可能である見込み（今後、詳細な調査等が必要）

柱、梁

集成材

- 複数の板を筋をそろえて
- 接着剤で貼り合わせた木材
- 強度が必要な部分に使用

約30mmの挽き板を接着



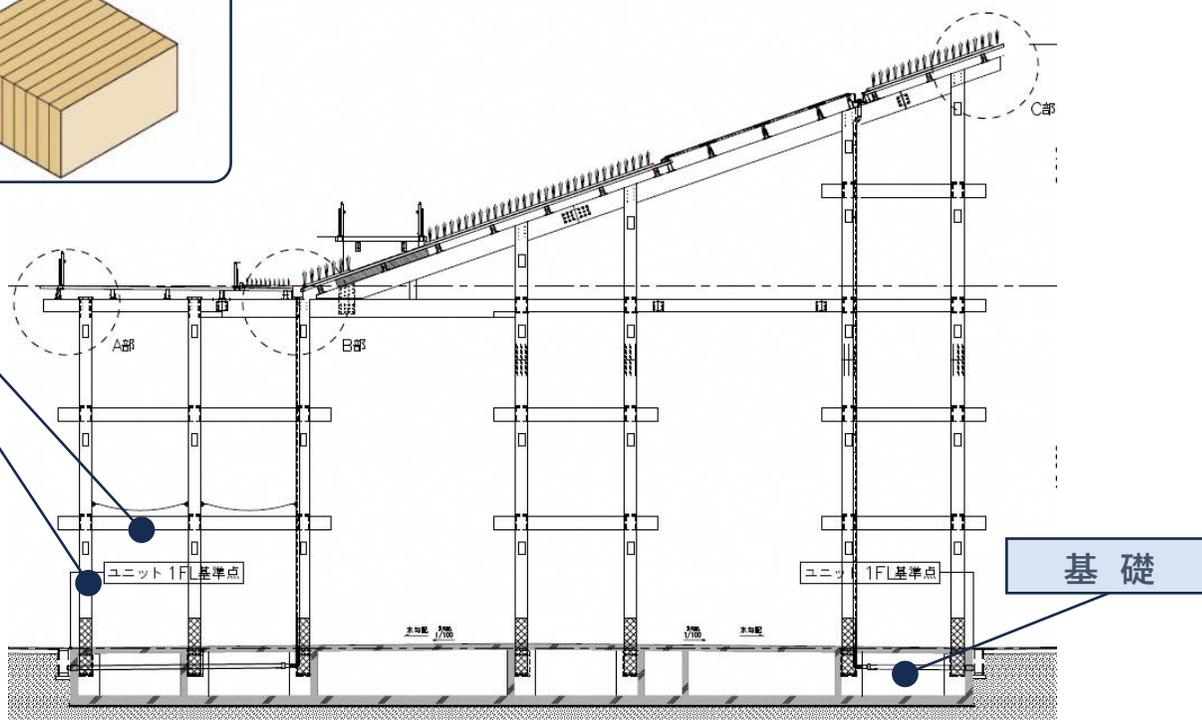
【出典: 愛媛県CLT普及協議会】



柱、梁外観



柱断面
(リユース解体部)



(参考)大屋根リングの断面図

夢洲における万博レガシー継承と発信について

(参考) 民間開発エリアの取組み

【基本方針】

- ・万博の理念を継承し、国際観光拠点形成を通じて「未来社会」を実現するまちづくりをめざす

【具体的取組み】

- ・大阪が強みを有する産業（健康・医療産業など）や研究機関の成果などに来訪者が気軽に接することができるショーケース機能の導入や、最先端技術の実践・実証の取組み、様々な都市データの収集・構造化・オープン化・分析により得られるデータを活用したプロジェクトを創出するスマートシティプラットフォームの構築などを実施

<夢洲第2期区域>



民間開発エリア

- ▶大阪が強みを有する産業や研究機関の成果などのショーケース機能の導入
- ▶最先端技術の実践・実証
- ▶都市データ等を活用したプロジェクトを創出するスマートプラットフォームの構築
- ▶静けさの森の樹木を利活用した、まちづくりと一体となった緑地等の整備

大阪ヘルスケアパビリオン跡地活用ゾーン

- ▶先端医療・国際医療・ライフサイエンスに係る機能を導入し、これらに係る情報発信を行う